

トップページ

見どころ

ものがたり&
人物関連図

スタッフ・
キャスト

インタビュー&
コラム

公演日程&
チケット情報

関連イベント

PDF印刷

FOLLOW US
f t v i

スタッフ



指揮：アンドリー・ユルケヴィチ

Conductor: Andriy YURKEVYCH

Profile



演出：ドミトリー・ベルトマン

Production: Dmitry BERTMAN

Profile

美術：イゴール・ネジニー

Set Design: Igor NEZHNY

衣裳：タチアーナ・トゥルビエワ

Costume Design: Tatiana TULUBIEVA

照明：デニス・エニユコフ

Lighting Design: Denis ENYUKOV

振付：エドワルド・スミルノフ

Choreographer: Edvald SMIRNOV

演出助手：ガリーナ・ティマコーワ

Assistant Director: Galina TIMAKOVA

舞台監督：高橋尚史

Stage Manager: TAKAHASHI Naohito

キャスト



タチヤーナ：エフゲニア・ムラーヴェワ

Tatyana: Evgenia MURAVEVA

Profile



オネーギン：ワシリー・ラデューク

Eugene (Yevgeny) Onegin: Vasily LADYUK

Profile



レンスキー：パーヴェル・コルガーティン

Vladimir Lensky: Pavel KOLGATIN

Profile



オリガ：鳥木弥生

Olga: TORIKI Yayoi

Profile



グレーミン公爵：アレクセイ・ティホミーロフ

Prince Gremin: Alexey TIKHOMIROV

Profile



ラーリナ：森山京子

Madama Larina: MORIYAMA Kyoko

Profile



フィリッピエヴナ：竹本節子

Filipyevna: TAKEMOTO Setsuko

Profile

ザレツキー：成田博之
Zaretsky: NARITA Hiroyuki

トリケ：升島唯博
Monsieur Triquet: MASUJIMA Tadahiro

隊長：細岡雅哉
A Captain: HOSOOKA Masaya

合唱指揮：三澤洋史
Chorus Master: MISAWA Hirofumi

合唱：新国立劇場合唱団
Chorus: New National Theatre Chorus

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督：大野和士
Artistic Director: ONO Kazushi

やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
公演中止の場合を除き、チケットの変更及び払い戻しはいたしません。

ACCESS

新国立劇場のご案内

〒151-0071
東京都渋谷区本町1丁目1番1号
TEL : 03-5351-3011(代表)
京王新線(都営新宿線乗入)「初台駅」
中央口(新国立劇場口)直結。



Share

公演をシェアする

[ツイート](#) [いいね!](#)

Follow us

公式ソーシャルメディア



[新国立劇場ホームページ](#)

 新国立劇場

2019/2020シーズン-特別支援企業グループ

—ONWARD— kao TBS TOYOTA HITACHI

当サイトに関する内容一切の無断転載及び使用を禁じます。

Copyright © 2018-2019 NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO. all right reserved.

演出：ドミトリー・ベルトマン

Production: Dmitry BERTMAN



モスクワ生まれ。ロシア舞台芸術アカデミーでオペラ演出を学ぶ。1990年に23歳でモスクワ・ヘリコン・オペラを創立、すぐにロシアで最も有名なオペラカンパニーのひとつの地位を確立する。国内外でロシア作品や世界初演作品を含め多くのプロダクションを演出しており、カナディアン・オペラ・カンパニー、スウェーデン王立ドラマ劇場、マリンスキー劇場、ラトヴィア国立歌劇場、ローマ歌劇場、エストニア劇場、フィンランド国立歌劇場、モスクワ・N.I.サツツ記念子供音楽劇場、マシー歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、マンハイム国民劇場、フォルクスオーパー、ニュージーランド歌劇場、バルセロナ・リセウ大劇場などで演出。2005年、ロシア連邦人民芸術家となる。98年、99年、01年、ロシア劇場連合"ゴールデンマスク賞"受賞。03年～05年、劇場労働者組合"シーズン優秀作品賞"、05年スタニスラフスキー賞、07年モスクワ市賞、08年エストニア賞およびエストニア劇場組合賞、ロシア・フレンドシップ勲章、フランス教育功労章オフィシエ、など受賞多数。ロシア舞台芸術アカデミー教授、ベルンオペラスタジオ教授。20年よりエストニア・ブリギッタ音楽祭芸術監督に就任予定。新国立劇場初登場。

指揮：アンドリー・ユルケヴィチ

Conductor: Andriy YURKEVYCH



ウクライナ生まれ。1999年にウクライナのリヴィウ音楽大学を卒業し、ポーランド国立歌劇場でヤツェク・カズプシク、イタリア・シエナの音楽院でジェルメティ、ペーザロでアルベルト・ゼッダのもとで学ぶ。96年からリヴィウ国立オペラ常任指揮者となり、『アイーダ』『ナブッコ』『イル・トロヴァトーレ』『椿姫』『オテロ』『蝶々夫人』『トスカ』『カルメン』やロシア・オペラなどを指揮する。モルドバ国立オペラ・バレエ音楽監督を経て、現在、ポーランド国立歌劇場音楽監督。ローマ歌劇場には05年『白鳥の湖』『眠れる森の美女』で登場後、10/11シーズン開幕公演『ファルスタッフ』も指揮した。サンチャゴ・ムニシパル劇場、サンフランシスコ・オペラ『連隊の娘』、バイエルン州立歌劇場、シュトゥットガルト州立劇場『セビリアの理髪師』、モンテカルロ歌劇場『ランスへの旅』、ベルギー王立モネ劇場『運命の力』『ボリス・ゴドゥノフ』、ザンクトガレン歌劇場『スベードの女王』、ギリシャ国立歌劇場『清教徒』、サンカルロ歌劇場『マリア・スタッアルダ』、デュッセルドルフ・ライン・ドイツ・オペラ『エウゲニ・オネーギン』、マンハイム国民劇場『ロベルト・デヴリュウ』、バルセロナ・リセウ大劇場『アンナ・ボレーナ』、ポーランド国立歌劇場『エウゲニ・オネーギン』など多くのオペラを指揮している。新国立劇場初登場。

タチヤーナ：エフゲニア・ムラーヴェワ

Tatyana: Evgenia MURAVEVA



サンクトペテルブルク生まれ。サンクトペテルブルク室内歌劇場のソリストとしてトスカ、ミミ、ドンナ・アンナ、ネッダ、『スペードの女王』リーザ、『ボリス・ゴドゥノフ』クセニヤなどに出演。近年はマリインスキー劇場に定期的に客演し、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『サロメ』タイトルロール、『ムツェンスク郡のマクベス夫人』カテリーナ・イズマイロワ、『スペードの女王』リーザ、『神々の黄昏』グートルーネ、チャイコフスキー『オプリーチニク』ナタリア、プロコフィエフ『セミヨン・コトコ』リュブカ、リムスキー・コルサコフ『5月の夜』パンノーチカなどに出演。2017年、ザルツブルク音楽祭に『ムツェンスク郡のマクベス夫人』カテリーナ・イズマイロワでセンセーショナルなデビューを飾り、18年には『スペードの女王』で出演した。ほかにベルリン・コーミッシェ・オーバー『エウゲニ・オネーギン』タチヤーナ、カザンのタタール国立オペラで『イル・トロヴァトーレ』レオノーラに出演。18/19シーズンは、リヨン歌劇場『メフィストフェレ』マルゲリータ/エレナ、トゥールーズ・キャピタル・オペラ『死の都』マリエッタ/マリー、ミラノ・スカラ座『ホヴァンシチナ』エンマ、ローマ歌劇場『炎の天使』レナータなどに出演。今後の主な予定にナポリ・サンカルロ歌劇場『蝶々夫人』タイトルロール、パレルモ・マッシモ劇場『道化師』ネッダなどがある。新国立劇場初登場。

オネーギン：ワシリー・ラデューク

Eugene (Yevgeny) Onegin: Vasily LADYUK



ロシア出身。モスクワのノーヴァヤ・オペラのソリストとしてキャリアをスタート、2007年からポリショイ劇場ゲストソリスト。フランシスコ・ビニヤス国際声楽コンクール、ドミンゴ主宰オペラリア、第4回静岡国際オペラコンクールと3つの国際コンクールを制覇。これまでにマリインスキー劇場、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、モネ劇場、ヒューストン・グランド・オペラ、フェニーチェ歌劇場などに出演。ミラノ・スカラ座と英国ロイヤルオペラの『エウゲニ・オネーギン』オネーギンは称賛を集め、チャールズ皇太子主催バッキンガム宮殿チャイコフスキー・ガラへも招待された。近年はポリショイ劇場に『エウゲニ・オネーギン』、『スペードの女王』エレッスキー公爵、『椿姫』ジェルモン、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『ドン・カルロ』ロドリゴ、『イオランタ』ロベルトなどで数多く出演しているほか、メトロポリタン歌劇場『ナクソス島のアリアドネ』ハルレケン、オスロで『ラ・ボエーム』、ラス・パルマスで『真珠採り』ズルガ、トリノ『ファウスト』、ノーヴァヤ・オペラ『愛の妙薬』『トロヴァトーレ』、リセウ大劇場『アッティラ』などに出演。オネーギン役はオスロ、ルクセンブルク、トリノおよびサンタ・チェチーリアのガラでも出演している。最近の出演に、ポリショイ劇場『椿姫』ジェルモン、『セビリアの理髪師』フィガロ、『ドン・バスクワレ』マラテストなどがある。新国立劇場初登場。

レンスキー：パーヴェル・コルガーティン

Vladimir Lensky: Pavel KOLGATIN



ロシア出身。国立合唱アカデミー在学中にボリショイ劇場ヤングアーティストプログラムに招かれ、『魔笛』タミーノでデビュー。2012年にローマ歌劇場に『魔笛』タミーノでデビュー後、『愛の妙薬』『チェネレントラ』で再び招かれる。モスクワ12月の夜の音楽祭、フランス・コルマー音楽祭、ラインガウ音楽祭、オルデンブルガー・プロムナードなどの音楽祭に出演。10年キッシンガー国際音楽祭ベスト・ヤング・アーティスト賞受賞。ウィーン国立歌劇場には『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオでデビュー後定期的に出演し、『ボリス・ゴドゥノフ』ユーロジヴォ、『フィガロの結婚』バジリオ、『ドン・バスクワーレ』エルネスト、『ナクソス島のアリアドネ』ブリゲッラ、『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵など多くの役出演。16年にザルツブルク音楽祭に『ダナエの愛』でデビュー。ザクセン州立歌劇場『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、ポーランド国立歌劇場には『イタリアのトルコ人』ドン・ナルチーズ、マンハイム国立劇場およびバーゼル歌劇場には『チェネレントラ』ドン・ラミーロで出演した。18/19シーズンはサンカルロ歌劇場で『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランドに出演したほか、スカラ座へ『ナクソス島のアリアドネ』ブリゲッラでデビューした。今後の予定に、ペーザロ・ロッシーニ音楽祭『ひどい誤解』エルマンノ、ウィーン国立歌劇場『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵などがある。新国立劇場初登場。

オリガ：鳥木弥生

Olga: TORIKI Yayoi



ロシア他東欧各地で演奏活動を開始。第1回E.オブラスツォワ国際コンクールに入賞し、マリンスキー歌劇場において、G.ノセダ指揮同劇場管弦楽団と共演。日本では岩城宏之指揮、ファリャ『恋は魔術師』でデビュー。フィレンツェ市立歌劇場オペラスタジオで研鑽を積み、02年同歌劇場公演『ジャンニ・スキッキ』ツィータでオペラデビュー。07年文化庁研修生として渡仏し、J.レイスに師事。ブッチーニ『外套』フルーゴラ(ルッカ他)、クレルモンピゼー『ジャミレ』主演(クレルモン=フェラン)、ブッチーニ『蝶々夫人』スズキ(バルセロナ他)など各地での出演で好評を得ている。ピゼー『カルメン』、ブーランク『カルメル会修道女の対話』マリー、ベッリーニ『カプレーティ家とモンテッキ家』ロメオなどに加え、ベートーヴェン『第九』、ストラヴィンスキー『ブルチネッラ』、フォーレ『ペレアスとメリザンド』、ヴェルディ『レクイエム』など幅広いレパートリーで活躍。15年岩城宏之音楽賞受賞。新国立劇場へは18/19シーズン『ファルスタッフ』ページ夫人メグに続いての出演となる。藤原歌劇団団員。

フィリッピエヴナ：竹本節子

Filipyevna: TAKEMOTO Setsuko



大阪音楽大学卒業。これまでに『カルメン』タイトルロール、『チェネントラ』タイトルロール、『ファルスタッフ』クイックリー夫人、『ニーベルングの指環』エルダ、『サムソンとデリラ』デリラなどを演じる。マラー『大地の歌』『復活』、ヴェルディ『レクイエム』など宗教曲のソリストとしても活躍し、国内主要オーケストラとの共演、CD、DVDも多い。新国立劇場では『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『アンドレア・シェニエ』マデロン／コワニー伯爵夫人、『さまよえるオランダ人』マリー、『神々の黄昏』第一のノルン、『アラベッラ』アデライデ、『夜叉ヶ池』万年姥などに出演。大阪音楽大学客員教授。二期会会員。

グレーミン公爵：アレクセイ・ティホミーロフ

Prince Gremin: Alexey TIKHOMIROV



ロシア連邦タタール共和国カザン出身。2005年よりヘリコン・オペラソリストとなり、ロシアをはじめ各地の歌劇場へ出演。これまでにマルセイユ歌劇場、ポーランド国立歌劇場、ベルギー王立ワロニー歌劇場、ボリショイ歌劇場、サンティアゴ・テアトロ・ムニシパルで『ボリス・ゴドゥノフ』タイトルロール、マドリッド王立歌劇場とモネ劇場で『金鶏』ドドン王、テアトロ・ムニシパル『リゴレット』スバラフチーレ、ハンブルク州立歌劇場『タウリスのイフィゲニア』トアス王などに出演。17/18シーズンはオランダジュ音楽祭『セビリアの理髪師』バジリオ、フィレンツェ歌劇場のコンサート、テアトロ・ムニシパル『ムツェンスク郡のマクベス夫人』ボリス・チモフェーヴィチ・イズマイロフ、サンパウロ歌劇場『トゥーランドット』ティムール、モンテカルロ歌劇場『群盗』マッシミリアーノ伯爵、ライブツィヒ・グヴァントハウスのクリスマスコンサートで『ボリス・ゴドゥノフ』、ヘリコン・オペラでは『ムツェンスク郡のマクベス夫人』、『金鶏』ドドン王、『エウゲニ・オネーギン』グレーミンに出演した。18/19シーズンはジュネーヴ大劇場で『ボリス・ゴドゥノフ』タイトルロールおよびヴァルラーム、『ラインの黄金』ファーフルト、『ワルキューレ』フンディング、マルセイユ歌劇場『リゴレット』スバラフチーレなどに出演。今後の予定に、オランダジュ音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、バーリ・ベトルツィイ劇場『エウゲニ・オネーギン』グレーミン公爵、ベルリン州立歌劇場『ホヴァンシチナ』ドシフェイなどがある。新国立劇場初登場。

ラーリナ：森山京子

Madama Larina: MORIYAMA Kyoko



国立音楽大学卒業。1993年文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。藤原歌劇団に88年『ラ・トラヴィアータ』のフローラでデビュー。以降、『カブレーティ家とモンテッキ家』のロメオで絶賛を博し、『アルジェのイタリア女』『チェネントラ』『イル・トロヴァトーレ』『蝶々夫人』など多くの公演で活躍。94/95、95/96シーズンはライブツィヒ歌劇場と契約。新国立劇場では『ナブッコ』フェネーナ、『マノン・レスコー』音楽家、『ヘンゼルとグレーテル』ゲルトルート、『蝶々夫人』スズキ、『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『軍人たち』ド・ラ・ロッシュ伯爵夫人、『リゴレット』マッダレーナ、『ムツェンスク郡のマクベス夫人』ソニエートカ、『オテロ』エミーリア、『夜叉ヶ池』万年姥、『カヴァレリア・ルスティカーナ』ルチア、『アンドレア・シェニエ』コワニー伯爵夫人、『椿姫』アンニーナ、鑑賞教室『カルメン』タイトルロールなど多くの公演に出演。18年には急速『アイダ』アムネリスに代役で出演し成功を取めた。00年『エウゲニ・オネーギン』でもラーリナを演じている。洗足学園音楽大学講師。藤原歌劇団団員。